

日商簿記 1 級&全経上級フリーテキスト講座 【連結会計 4】

収録日：平成 27 年 9 月 18 日

未実現利益の消去（連結会計の目的とは??）

親会社の子会社に押し込み販売して粉飾できないようにする！！
実現した利益は計上するが、未実現利益は計上してはいけない！！

では、未実現利益の消去まいりましょう

まずは<本支店会計のイメージ>で考えてみよう

支店側の期末商品 16,000 円に本社の内部利益 1,000 円が含まれていたなら
本支店合併 F/S は下記のように作成します

本支店合併 P/L			
売上		100,000	（内部取引相殺後）
売上原価			
期首商品棚卸高	5,000		
当期仕入高	50,000		

合計	55,000		
期末商品棚卸高	15,000	40,000	
			内部利益控除後
本支店合併 B/S			
商品	15,000		

(参考)
日商 2 級のテキストの表記

① 期首商品に含まれる内部利益
本支店合併損益計算書の「期首商品棚卸高」から控除する

② 期末商品に含まれる内部利益
本支店合併損益計算書の「期末商品棚卸高」および本支店合併貸借対照表の「商品」から控除する

これを仕訳で考えると

期末商品棚卸高 1,000 / 商品 1,000

原価増加→利益控除

16,000	
15,000	↓

}

期末を減らすと
原価が増える
利益が控除される

連結では上記仕訳は表示科目で行う

∴ 売上原価 1,000 / 商品 1,000

となる。

期末の内部利益控除の連結修正仕訳は、この意味だと考えて下さい

では、翌期はどうするのでしょうか？

各テキストには色々記されていますが、結構難しいですね。

簡単にいうと

①開始仕訳 利益剰余金当期首残高 1,000／商品 1,000

②実現の仕訳 商品 1,000／売上原価 1,000

(未実現の仕訳の逆仕訳)

①と②を別々に考えてもいいのですが

①と②を組み合わせると

利益剰余金当期首残高 1,000／売上原価 1,000

(前期の利益の取消 今年の利益の計上)

(前期から繰り越された商品の内部利益が今年実現した)

アップストリーム

[例題]

P社はS社の発行済株式(S社株式)の80%を所有し支配している。以下の資料にもとづいて、連結修正仕訳を示しなさい。

●資料●

S社はP社に対する売掛金¥6,250がある。

この売掛金には、2%の貸倒引当金が設定されている。なお、前期末におけるS社に対する売掛金にかかる貸倒引当金は¥75である。

	P社	S社	
	買掛金 6,250	売掛金 6,250	貸引
			前 75
			当 50
	連結精算表		
	売掛金	6,250	貸倒引当金
			125
			買掛金
			6,250

子会社の貸倒引当金繰入が減る（グループ取引の消去）→子会社の利益が増える（連結上の本来の利益に修正される）→非支配株主の持ち分も本来の数値に修正する

（利益が増えたら税金増える→でも払っていないから負債→UPの場合は少数株主持分も増える）

税効果会計を適用(実効税率 40%)する場合

連結修正仕訳

買掛金 6,250 / 売掛金 6,250

前期分の連結修正仕訳 (税効果 40%の場合)

貸倒引当金	75		利益剰余金当期首	75
利益剰余金当期首	30		繰延税金負債	30
利益剰余金当期首	9		非支配株主当期首	9

当期分の連結修正仕訳 (税効果 40%の場合)

貸倒引当金	50		貸倒引当金繰入額	50
法人税等調整額	20		繰延税金負債	20
非支配株主利益	6		非支配株主当期変動額	6

134 回の日商簿記 1 級資料 2 の 2.4.5. をしていきましょう (約 15 分)

2. S 社の当期純利益の仕訳

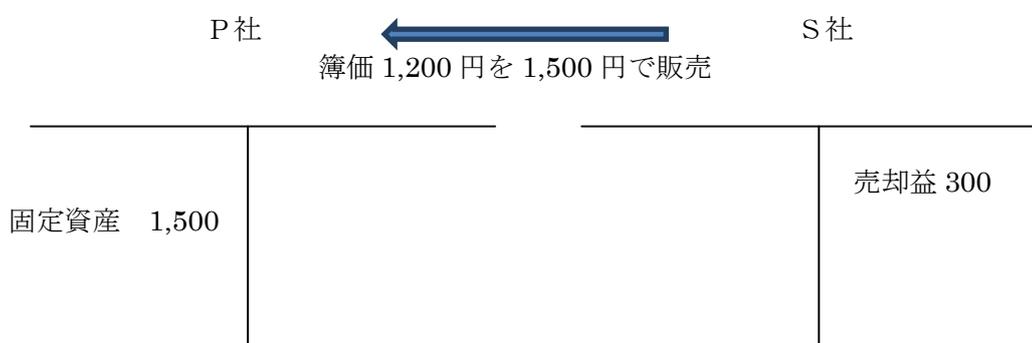
連結精算表で利益は合計されています。少数株主分 (30%) は引きましょう。

4. 未実現利益 80 千円の控除

当期の利益をマイナスする為には。売上原価を計上しましょう。

固定資産の内部取引

これは少し難しい。2002 年の仕訳を考えましょう。



グループで考えれば、固定資産を移動しただけ。利益あがらないし、簿価かわらない。

売却益 300 / 固定資産 300 (非支配株主への影響あります)

減価償却は本来 400 なのに、500 計上
100 減らしましょう

固定資産 100 / 減価償却費 100 (非支配株主利益への影響取り消します)

5. P → S への売掛金

単純に相殺して下さい

<参考>

未実現損益の消去

36: 連結会社相互間の取引によって取得した棚卸資産、固定資産その他の資産に含まれる未実現損益は、その全額を消去する。

37: 未実現損益の金額に重要性が乏しい場合は、これを消去しないことができる

38: 売手側の子会社に非支配株主が存在する場合には、未実現損益は、親会社と非支配株主の持分比率に応じて、親会社の持分と非支配株主持分に配分する

(参考) 全経簿記上級における連結会計の解き方

タイムテーブル記載

資本連結

成果連結 (Tフォーム)

内部利益は特に指示なければ (繰越商品×利益率) で単純に計算

親会社ー子会社間の売上／売上原価の相殺は 販売側の売上高を基準に相殺仕訳を行う

利益剰余金の最終集計は本試験では行わない (すべての回答があって、正解なので大変)

株主資本等変動計算書は少数株主持分や配当金などに配点くるので、そこを中心に回答